

造士館 PROJECT

協働的な活動の中で主導的な役割を担い、
科学的な思考により課題を解決できる人材を育成

21世紀型郷中教育

年長者（上級生や卒業生）が下級生を指導し、
グループで協働・議論しながら研究する。

評価

科学的な思考をしているか。
協働的な活動ができているか。
集団の中で積極的に活動しているか。
目的意識の高い進路選択ができているか。



21世紀型郷中教育完成（SSH採択3年後以降：2020～）

全職員によるサポート

本校でSSHを経験した卒業生（大学生・大学院生）

科学部

探究活動
大学や研究機関と連携した

学びの共同体

助言

対話

質問

啓発

協働

3年 探究Ⅲ

研究をまとめ、発表する。

2年 探究Ⅱ

文理の枠を越えたグループで研究を進める。

1年 探究Ⅰ
探究基礎

学問観を高め、テーマを設定する。
科学の方法を身につける。

鹿児島県内の小学生・中学生

Develop!

1年生の探究活動（SSH採択初年度：2018年度）

探究基礎

理科・情報担当教員によるサポート

科学の方法（探究活動の進め方）を身につける。

『探究のいろは』

- ①科学哲学 ②探究に必要な知識・技術
- ③論文検索 ④プレゼンテーション
- ⑤実験基礎

探究Ⅰ

1学年担当教員によるサポート

学問観を養い、探究活動への意欲を高め、
2年生からの本研究に向けて、テーマを設定する。

- ①開眼ゼミ
学問の分野を知る。
- ②学問探究
興味のある学問について調べる。

探究演習

グループで研究テーマを設定して探究活動を行い、探究活動の進め方を深める。

テーマ設定

- ①生徒個人によるテーマ探究・先行研究調査
- ②研究担当教員・大学の研究者らによる助言
- ③クラスを解いて研究テーマに沿った学群形成
- ④研究内容に合わせた研究班の形成
- ⑤教員・大学の研究者らによる助言
- ⑥研究班でのテーマ決定

SSH

Update!

1年生の探究活動（2017年度）

理科・情報担当教員によるサポート

科学と人間生活

科学の方法（探究活動の進め方）を身につける。

社会と情報

研究や学会発表に必要な技能や知識を身につける。

連携

総合的な学習の時間

学問観を養い、探究活動への意欲を高める。